

発電所だより 2026年 8月号

東北電力株式会社 女川原子力発電所 総務部広報グループ
女川町塚浜字前田1 電話0225-53-3111
2026年8月発行

7/22実施 《立地自治体による立入調査が実施されました》

7月22日、「女川原子力発電所周辺の安全確保に関する協定書(安全協定)」に基づき、宮城県、女川町、石巻市による立入調査(登米市、東松島市、涌谷町、美里町、南三陸町も同行)が行われました。今回いただいたご要望を真摯に受け止め、発電所の運営にしっかりと反映し、地域の皆さまから信頼され、地域に貢献する発電所を目指してまいります。

調査項目

- 2号機第12回定期事業者検査に関する事項
- 東通原子力発電所における防護設備の不適切な試験記録作成等に関する事項
- 第3四半期原子力規制検査結果に関する事項
- 1号機廃止措置の状況に関する事項
- 2号機主蒸気管放射線モニタ不具合に関する事項
- 2号機原子炉格納容器内水素濃度検出器の状況に関する事項



現場調査の様子



書面調査の様子

1号機廃止措置 現場調査の様子



立入調査における自治体からの講評(抜粋)

立入調査をした範囲では、特段の問題は見受けられず指摘事項はなかったが、以下の事項を取り組んでほしい。

- 常に安全を第一として取り組むこと。
- より一層のコンプライアンス意識を醸成すること。
- 地域住民や県民、立地自治体に対する丁寧な情報公開をすること。

また、今回の定期事業者検査において、燃料交換機計算機の不具合や湿分分離ドレンタンク下流の排水桝からの湯気発生などの様々な事象が発生し、その都度、原因究明と対策が講じられた。

これら一連の対応を共有化するなどして発電所内全体で不断の改善を着実に推進し、女川原子力発電所の安定かつ安全な稼働につなげてほしい。

発電所長コメント 講評を受けての

今回の定期事業者検査で経験した事象はもとより、過去に当社や他社において発生した事象とその教訓も受け継ぎながら、継続的に改善することで、今後の発電所運営に活かしてまいります。

女川原子力発電所は、地域の皆さまからのご理解と信頼をいただきながら、安全最優先を念頭にプラントの安定かつ安全な運転を通じて地域や社会の発展に貢献するとともに、“安全対策に終わりはない”というスローガンのもと、引き続きしっかりと対応してまいります。

《『チームラボ 世界とつながったお絵かき水族館』を開催します！》 入場無料

当社は、8月29日(土)から9月23日(水・祝)まで、「チームラボ 世界とつながったお絵かき水族館」を女川町まちなか交流館で開催します。

本展示は、「共創」をコンセプトにした教育的なプロジェクト「学ぶ！未来の遊園地」のうちの1つであり、他者と共に世界を創造することを楽しむ《世界とつながったお絵かき水族館》です。ぜひお越しください！

チームラボとは？



アートコレクティブ。2001年から活動を開始。集団的創造によって、アート、サイエンス、テクノロジー、そして自然界の交差点を模索している国際的な学際的集団。アーティスト、プログラマー、エンジニア、CGアニメーター、数学者、建築家など、様々な分野のスペシャリストから構成されている。



© チームラボ



© チームラボ

魚の輪郭が描かれた紙に自由にお絵かきすると、その魚が巨大な水族館を模した壁面を自由に泳ぎまわります。

開催期間 8月29日(土)～9月23日(水・祝)
※休館日9月8日(火)

時間 10:00～17:00 ※最終入場16:30

場所 女川町まちなか交流館
住所：牡鹿郡女川町女川2丁目65番地2

詳細情報 こちらの二次元コードのリンク先から公式ウェブサイトをご確認ください



お問い合わせ先 運営事務局
Onagawa-teamlab-event@toinx.co.jp

主催 東北電力株式会社

後援 女川町、女川町教育委員会

《地域のお祭りに発電所や東北電力グループの社員が参加し、地域の皆さまとの交流を深めました》

女川原子力発電所では、所員一人ひとりが地域の皆さまとの交流を深めるとともに、地域の文化とともに育みたいという思いから、地元のお祭りに参加しています。発電所員や東北電力グループの社員が参加した活動を紹介します。

おながわみなと祭り(7月26日)

発電所員7名が運営スタッフとして参加し、会場の設営・撤収やエコステーションの運営などを行いました。
翌日は地域の小中学生と会場の清掃活動を行いました。



エコステーションの運営



石巻川開き祭り(7月31日～8月2日)

東北電力グループの社員約90名が「大漁踊り」や「大縄引き」に参加し、東北発電工業の『東発水漕楽部』が「孫兵衛船競漕」に出場しました。



大漁踊りに参加



孫兵衛船競漕に出場



ステージ運営の手伝い



鯨の炭火焼き配布

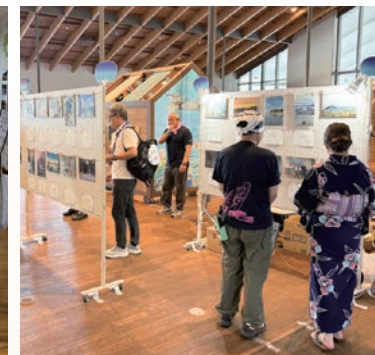
《【女川牡鹿フォトフェスティバル2026】を開催しました》

おながわみなと祭りと牡鹿鯨まつりに合わせ、【女川牡鹿フォトフェスティバル2026(主催:東北電力)】を開催しました。

女川町・牡鹿半島で撮影された、地域の素晴らしさが伝わる写真90点を展示し、2日間で503名に来場いただきました。



7/26 女川会場の様子
(東北電力地域総合事務所)



8/8 牡鹿会場の様子
(牡鹿半島ビジターセンター)

《小屋取寮生が近隣の小屋取浜と夏浜を清掃しました》

7月28日、女川原子力発電所の近隣に立地する東北電力小屋取寮の寮生36名が、小屋取浜と夏浜の清掃活動を行いました。

清掃活動ではゴミや流木などの漂流物を拾いました。

今後も地域の一員として、女川町の美しい海の保全活動に取り組んでまいります。



集合写真



小屋取浜清掃の様子

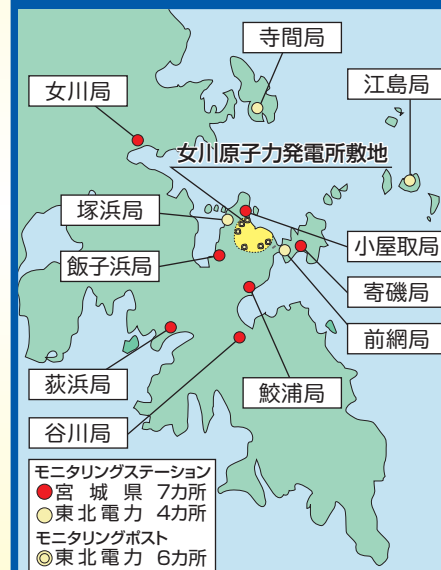


夏浜清掃の様子

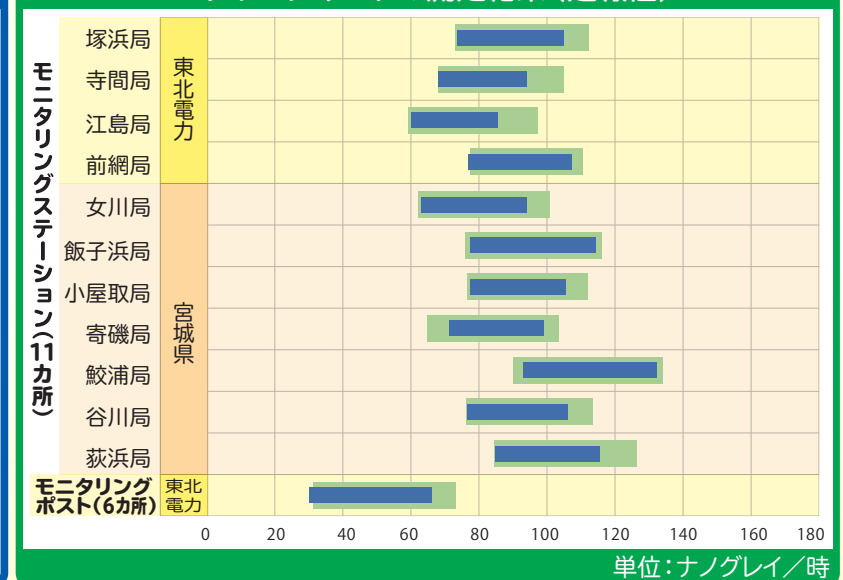
《発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングステーション※1やモニタリングポストで測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。2026年7月の測定結果は以下のとおりで、発電所周辺の放射線量は安定しており、発電所の運転による有意な変化はなく、環境への影響はありません。

モニタリングステーションとモニタリングポストの設置地点



2026年7月のモニタリングステーションとモニタリングポストの測定結果(速報値)※2



※1 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。

※2 モニタリングポストの測定値は、検出器の種類が異なるため、宇宙線(宇宙空間を飛び交う高エネルギーの放射線)の影響分が含まれないことから、モニタリングステーションの測定値より20~40ナノグレイ/時程度低い測定値となっています。

グラフの見方

